

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
越前市	池泉町	令和2年2月	平成30年3月

集落座談会: 令和2年2月2日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	1.1 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	1.1 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	0.7 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.5 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.2 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.0 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・小規模農家が所有・耕作する農地が増加している。 ・農業従事者の高齢化が加速している。 ・用水が十分に引けず、パイプラインも整備されていない。 ・圃場区画が狭いため、大型機械を用いての耕作が困難であり、大型機械を使用している他地域の担い手などから耕作を断られてしまう。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地域で協力し、集落単位での耕作を目指す。
地元負担金も含めた、地主との合意形成を図る中で、水田を再整備して圃場区画を広くし、担い手が耕作しやすいようにする。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向			備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲	
認農	認定農業者A	水稲	0.2 ha	水稲	0.2 ha		
認農	認定農業者B	水稲	0.0 ha	水稲	0.0 ha		
認就	認定就農者C	水稲	0.0 ha	水稲	0.0 ha		
計	3人		0.2 ha		0.2 ha		

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

ドローンを用いた農業を検討する。現在池泉町には機械化組合があってコンバインやトラクターを組合員に低価格で貸しており、それにドローンも加える。現状としてトラクターやコンバイン等の機械はあっても、機械を用いて耕作する人が少ない。ドローンの使用は重労働ではないため、若い人等が新たに農業に参加するハードルも下がると考えられる。こうして若い人材の地域農業への参加を促進することで集落における後継者を生み、中心経営体の育成につなげる。
